

次世代を担うSC 経営者層の育成を目指す
SC 業界唯一のビジネススクール

SC ACADEMY

SCアカデミー

第20期生募集案内

2026年4月～2027年3月

◆受講のおすすめ

当協会は、1973年創立以来、SC 業界の人材育成に重点を置き、今日までセミナー、通信教育、海外研修などの各種教育プログラムを実施してまいりました。

2007年には次世代のSC 経営者層の育成を目的として、SCを学術的・体系的に学び、SCの新潮流や将来動向についても理解を深めるためのプログラム「SC アカデミー」を創設いたしました。これまでに 713名が修了し、現在19期生42名が在学中です。

オンラインを活用し、遠隔地で勤務する方も受講可能な環境を整えています。

このほど第20期生の募集を開始いたしました。つきましては、貴社の人材教育機関として、本アカデミーをご活用ください。

◆目的と特色

1. 次世代を担うSC 経営者層の育成を目的とします。
2. SCを学術的・体系的に学び、SCの新潮流や将来動向についても理解を深めていただきます。
3. 一方的な受け身の授業ではなく、“考える力”をつける授業です。
4. 講師には各コースの指導教授のほか、各分野で活躍されているゲスト講師をお招きします。
5. 受講生相互の情報交換や、ネットワークづくりに役立ちます。



一般社団法人
日本ショッピングセンター協会

● SC序論 (合宿研修)

Curriculum

指導教授／小嶋 彰 (株)フロンティアリテール研究所 代表取締役(SC経営士)

日程	単元	課 目	内 容 と 目 的
4/9 (木)	1	合宿研修について	SCアカデミーにおける学習の意義や手法、覚悟などおよび20期生の連携強化について。
	2	特別講義 I	調整中
	3	環境革命の世紀	今世紀最大の課題である「環境」に対し、我々はどういう位置に立ち、何を考え、何をすべきなのか。商業環境やSCを取りまく「環境」の様相を歴史的・批評的・包括的に俯瞰しながら、このアボリアへの展望を示す。
	4	The Art of Being SCの存在可能性への問いと技術	自然環境、平和、経済、人口、健康…社会が直面する複合的な危機が、ビジネスの存立基盤を揺るがしている。SCとは“何か”と本質から問い直すこと、そしてその姿勢を支えるものとして、「哲学」の知を自分のものにしていく。
	5	SCアカデミーを100倍楽しむ ー サードプレイスにしよう ー	講義の効果的な受け方やSCアカデミーを「居心地のよい場所」にするための工夫について。
		交流会	
4/10 (金)	6	経済社会における小売商業の役割	①次世代商業施設開発&管理運営のビジョンづくり ②家計消費構造の2025年アップデートと人々のライフスタイルの変化 ③次世代SCの重要な構成要素となった飲食・サービス業 ④SC構成要素の変化:体験型商業、ウェルネス&スポーツの充実、エンターテインメント強化、施設内の広場づくりなどのトレンド ⑤地域活性化における商業施設の役割
	7	特別講義 II	調整中
	8	リアルな力を最大化するSC戦略	オンラインが浸透した今、SCが地域にとって価値ある場であり続けるためには、「リアルにしか提供できない価値を最大化すること」が不可欠である。 体験価値・滞在価値・コミュニティ・パーソナライズを組み合わせ、「リアルプラットフォーム」へと進化させることで、SCは新たな需要を創造し、地域の生活文化と地域経済を牽引する存在になり得る。
	9	グループディスカッション	グループに分かれ、与えられたテーマ・課題について、グループ内でディスカッションを行い、結論の発表を行う。
	10	総 括	

● SC総論 I

Curriculum

指導教授／犬塚 潤一郎 実践女子大学生活科学部 教授(哲学、メディア学、風土学)

日程	単元	課 目	内 容 と 目 的
4/17 (金)	1	哲学: 構造を読み解き、考えるための技術	知性のメカニズム化(AI技術)が進む今日、社会課題の意味を明らかにし創造的な解法を生み出す、人の知力の重要性が増している。知の技法としての哲学を学ぶ。
4/24 (金)	2	デザイン: 「幸福」に寄与する店舗デザイン	資本主義・産業社会の転換のなかで、これからの商業をいかにデザインするか。SC空間の意味とカタチを具体的に構想する。
5/15 (金)	3	経営: 「生命的」な社会におけるSC経営	企業の“存在意味”とは何か。エコロジカルエコノミー時代におけるSC運営を実現するための理論と姿勢について考察する。
5/22 (金)	4	生活: 社会の進化と「日常」の深化	デジタル化と人の関係の変化、技術の進歩と人の能力の進化が問われるなか、街と暮らしの意味と豊かさをどのように深めることができるのか。事象事例を通じて考察する。
5/29 (金)	5	芸術: 社会と生活の意義と形	アートに関して世界から周回遅れの日本。日常や地域社会にアートを結び付ける＝ビジネスに生かして成功するには、世界標準のアート産業から具体的な事業メリットを明らかにする。
6/5 (金)	6	Actual Visionary Meeting: 地球と人類を視野に、SCの現状を大きく変えようとする志を持つ人々がともに語り合う	受講生の皆さんと、講義を担当した講師たちとのクロスインパクトミーティングを行う。

● SC総論 II

Curriculum

指導教授／彦坂 裕 (株)スペースインキューバタ 代表取締役・上海視覚芸術学院徳稲大師学院教授・日本建築家協会会員

日程	単元	課 目	内 容 と 目 的
6/12 (金)	1	都市環境の運営 ー エリアマネジメントの現代的位相 ー	<スクール形式> 街とSCの再生を国内外の先進的事例を中心に紹介しながら、その方策、キーワード、意味、課題などを包括的に分析し、都市事象のデータ化や可視化、さらにその言語化の重要性、そして実験的なマネジメント推進方法を展開する。
6/19 (金)	2	ランドスケープとSCの相互交通	<スクール形式> 庭園の構成手法からランドスケープの概念、ランドスケープと都市創造・地域創造の問題を紹介するとともに、今後重要になるSCにおけるランドスケープ価値やランドスケープ的視野の可能性、景観創造、まちづくり、エコロジーの実践的展開を考察する。
6/26 (金)	3	「SCの定義」の現在	<クロストークセッション> ゲストパネラーを交えた受講生との対話のなかで、現代におけるSCというターミノロジーの定義をめぐる議論を多角的な視点から討議する。パネラーによるミニ座談会も開催予定。
7/3 (金)	4	SC・グルーエン・映画と都市	<スクール形式> SCの父と言われるヴィクター・グルーエンの足跡、その思想と方法、現代におけるレガシーを紹介しつつ、映画と都市の相関性やSCをめぐる文化的問題を歴史的横断性をもちながら考察する。
7/10 (金)	5	集客装置としての商業環境	<スクール形式> 集客や滞留、さらには顧客・参加者の支持を得るイベント創造の歴史的・同時代的事例、その制作論、現代における展開、そして地域創生との関係などにフォーカスを当てながら、商業環境の魅力やレジリエンスを高めるあり方について深耕する。
7/17 (金)	6	SCの未来価値	<パネルセッション> 受講生参加型で、SCがもつ未来価値、SCによってかなえられる社会的な夢、そのためのイノベーションをリベラルアーツ的視界で考える。ゲストパネラーには、アカデミー講師を含む最前線で活躍されている方々を招聘、合わせてSC総論IIの総括も行う。

● SC 経営実践論

Curriculum

指導教授／矢木 達也 (株)ピーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長(SC経営士)

日程	単元	課 目	内 容 と 目 的
8/21 (金)	1	SC 事業の理解・リート・ファンドとバリュアップ	商業施設の所有形態として定着化したJリートとその仕組みを理解する。 NOIから資産価値を算出、バリュアップの仕組みを考える。
8/28 (金)	2	流通の変化とリテイルの未来像	SCのパートナーであるリテラーは今後どのように変化していくであろうか。 視野を広げ新たなパートナーを探す。
9/4 (金)	3	地方商店街の活性化事例とSCへの応用	地方商店街の活性化、まちおこしの具体策を事例から学び、SCでの応用を考える。
9/25 (金)	4	海外先進事例をととして新たなSC開発の手法	アジアでのSC開発をケーススタディにコンセプトワークから、プロセスプランニング、 デザインワークなど、ネットにはかなわないリアルな場づくりを学ぶ。
10/2 (金)	5	プレイスメイキングによるSCの新たな「場」づくり	SCや周辺エリアの空間を誰もが使いこなせる居心地のよい空間に変える。 多様なアクティビティを創出させるプロセスやデザイン、ネットワークづくりを考える。
10/23 (金)	6	SCで活用するべきテクノロジーや新たな試み	リテイルテックやフードテックなど、SCを取り巻くテクノロジーの進化とSC事業 でのオープンイノベーションについて学ぶ。
10/30 (金)	7	まとめ ーリアルを力最大化するSC戦略仮説づくりー	グループ別ディスカッションとプレゼンテーション

● 特別演習

Curriculum

指導教授／太田 巳津彦 (株)ワイ・キャップコンサルティング 代表取締役(SC経営士)

日程	単元	課 目	内 容 と 目 的
9/18 (金)	1	特別演習Ⅰ	ケーススタディを通じて、戦略策定のフレームワークを身につける。
10/16 (金)	2	特別演習Ⅱ	注目の商業施設を訪問し、フィールドワークを行う(グループワーク)。
11/13 (金)	3	特別演習Ⅲ	フィールドワークにもとづき、当該施設の活性化戦略を策定し、プレゼンテーション。

● 特別講義

Curriculum

日程	単元	課 目	内 容 と 目 的
4/9 (木)	1	特別講義Ⅰ	調整中
4/10 (金)	2	特別講義Ⅱ	調整中
7/24 (金)	3	特別講義Ⅲ	調整中
8/7 (金)	4	特別講義Ⅳ	調整中

● ゼミ方式 (いくつかのグループに分ける)

Curriculum

日程	単元	内 容
7/31 (金)	1	卒業論文書き方講座、各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 ほか
9/11 (金)	2	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 ほか
10/9 (金)	3	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 ほか
11/6 (金)	4	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 ほか

※やむを得ない事由により、講師・時間割・講義内容等を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆第20期 SCアカデミー開催要領

1. 会 場 (一社)日本ショッピングセンター協会(東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15F)ほか
2. 期 間 2026年4月～2027年3月(授業は2026年11月中旬まで実施予定)
3. 時 間 金曜日 18:30～20:30 ※授業によって変更になる場合がございます
4. 受講料 495,000円(本体価格450,000円 消費税45,000円)
5. 対 象 当協会会員企業の中堅社員(SC事業に関連した職種で5年以上の実務経験を有すること)
6. 定 員 40名(予定)

7. 担当指導教授(敬称略)

- SC序論(合宿研修) 小嶋 彰 (株)フロンティアリテール研究所 代表取締役 (SC経営士)
- SC総論Ⅰ(6単元) 犬塚 潤一郎 実践女子大学生活科学部 教授(哲学、メディア学、風土学)
- SC総論Ⅱ(6単元) 彦坂 裕 (株)スペースインキュベータ 代表取締役・上海視覚芸術学院徳稲大師学院教授・日本建築家協会会員
- SC経営実践論(7単元) 矢木 達也 (株)ピーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長 (SC経営士)
- 特別演習(3単元) 太田 巳津彦 (株)ワイ・キャップコンサルティング 代表取締役 (SC経営士)
- 特別講義(4単元)
- ゼミ方式(4単元)

8. お申し込み・お問い合わせ先

(一社)日本ショッピングセンター協会 教育研修部／村松^{よでん}・與田
〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15F
TEL: 03-5615-8523 FAX: 03-5615-8539 E-mail: kenshu@jcsc.or.jp

9. お申し込み締切日 **2026年2月10日(火)** ※期日前でも定員に達し次第、締切とさせていただきます。

10. 受講申込者及びご担当者様へ

- 基本的には会場(リアル)受講を推奨いたしますが、遠隔地での受講をご希望の方はリモート受講も可能です。「合宿研修」、「SC総論Ⅰ・Ⅱ」「SC経営実践論」の最終回、特別演習の現地視察は会場受講となります。SCアカデミー事務局より遠隔地からの受講を承認された方は交流機会の支援(宿泊費)として、年間5回、各回1万円を限度に補助いたします。
- 下記の受講申込書を提出後、①実務経歴書および所属企業の推薦状と②1,200字程度の小論文(何を学びたいか、受講の目的)を提出していただきます。受講申込者については、①実務経歴書、②小論文にもとづいて、入学の審査を行います。審査の結果によっては、受講をお断りする場合があります。審査結果は、2月末にご連絡いたします。受講申込書を提出後、協会事務局より①のフォーマットデータをお送りいたします。①、②につきましては、2026年2月19日(木)までに必ず提出してください。
- 開催期間中に受講生が何らかの理由で辞退されても、受講料は返金いたしません。
- 本アカデミー修了者は、SC経営士二次試験が免除になります。

----- キリトリ線 -----

<FAX:03-5615-8539> 教育研修部 行

SCアカデミー第20期受講申込書

企業名:	担当者部署:	担当者名:
〒	TEL:	
住所:	FAX:	E-mail: @

受講者名	部署・役職	E-mail
フリガナ		@
フリガナ		@

※振込銀行名: 銀行 店から 銀行(協会指定)へ 月 日振込予定

個人情報の利用目的について

当協会は、今回取得します皆様の個人情報を主に「SCアカデミー」を実施するために利用します。その円滑な実施のために名簿を作成して、参加者や講師に配布します。詳細は当協会ホームページを参照ください。 <http://www.jcsc.or.jp/>